

平成30年度 アルザにいがた主催事業実施状況

◆は、企画委員担当講座

No.	事業名・講座名	回数	テーマ・内容（開催日）	対象・募集人数	応募者数	延参加者数	参考内訳		平均参加者数	保育
							男	女		
◆ 1	女性の生き方講座 1	3	良妻賢母からの解放 (7/4・22人 7/11・20人 7/18・19人)	子育てに関心のある女性20人 【保育15人】	30人	61人	0	61	20.3人	18
2	男性の生き方講座 (子育て期)	3	パパと家族みんなのハッピータイム (7/14・18人 7/21・12人 7/28・8人)	子育て中の父親20人 ※7/14は妻、7/21は子参加 【保育15人】	13人	38人	24	14	12.7人	12
◆ 3	女性の生き方講座 2	3	世代・性別をこえたケアって？ ～出産から介護まで～ (9/28・9人 10/5・9人 10/12・9人)	女性 20人 【保育10人】	11人	27人	0	27	9.0人	0
4	働く女性の生き方講座	2	ママのための起業応援セミナー (1/30 2/6)	女性15人 【保育15人】	人	人			0.0人	
◆ 5	男性の生き方(定年期)講座	2	企画中	定年前後の男性 人 【保育 人】	人	人			0.0人	
◆ 6	ジェンダーで社会を考える講座	3	差別や偏見からの解放 (12/2 12/9 12/16)	30人 【保育15人】	人	人			0.0人	
7	再就職支援講座	2	ママのための再就職応援セミナー (7/13・14人 7/20・14人)	女性15人 【保育15人】	19人	28人	0	28	14.0人	9
8	保育者養成講座	5	保育者養成講座 講義・グループワーク(5回)(9/7～11/29)・保育 実習(2回)全7回	公民館・アルザにいがたなどで保育者として活動したい市民31人	人	人	0		0.0人	
9	相談室連携講座①	8	自己尊重トレーニング(SET)講座 ～わたしを大切にするために～ (5/9・13人 5/16・10人 5/23・10人 5/30・11人 6/6・13人 6/13・12人 6/20・10人 6/27・11人)	女性15人 【保育10人】	14人	90人	0	90	11.3人	19
10	相談室連携講座②	8	自己表現トレーニング(AT)講座 ～より豊かな関係をめざして～ (9/26～11/14)	女性15人 【保育10人】	人	人			0.0人	
11	相談に携わる方のための講座	1	DVや逆境的環境下で育った親と子どもへの支援 (9/1・67人)	各種相談に携わっている方 50人【保育5人】	67人	67人	6	61	67.0人	3
12	男女共同参画講座	1	企画中	100人 【保育10人】	人	人			0.0人	
13		1	企画中	20人 【保育5人】	人	人			0.0人	
									講座参加者数	311

14	登録団体交流会	2	第1回(7/22) 登録団体活動事例発表(女性史クラブ) カーリンコン	23団体 28人						0
15		2	第2回	団体 人						0
	情報啓発紙「アルザ」	4	年4回 発行(7月、10月発行済み)	各1,000部発行(市内各公民館・県女性センターほか)						
	アルザフォーラム		アルザフォーラム2018「見つけよう シアワセの新しいカタチ」開催期間11/10～18 □基調講演(11/10) 犬山紙子さん・劔樹人さん □分科会1「若年妊娠とその背景～性教育とデートDV防止の重要性～」(11/24) □分科会2「仕事も私生活も欲張る～Work×Life×SocialでHybrid人生～」(11/27) □DVD上映会(11/17) 協賛事業(3企画)、ワークショップ(21企画)、各区男女共同参画地域推進員企画事業							

講座プログラム

- 事業名：平成30年度 女性の生き方講座1
- 講座タイトル：「良妻賢母からの解放」
- 対象・定員：子育てに関心のある女性20人
- 保 育：15人(企画委員保育1名含む)

学習目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定的性別役割分担からの解放 ・ 自己肯定感を高める 			
行動計画		1-1-1, 2-2-2, 4-2-1, 5-1-2			
回	日時	タイトル	内容	方法	講師・助言者
1	7/4 (水) 10:00 ～ 12:00	「声をヒントに自分らしく生きる～声のセルフマイニング～」	<p>(ねらい) 女性の参画拡大に向け、自己能力を開発する</p> <p>(内 容) ・声をヒントに自分らしく生きる。 ・自分を知り自分を改善していく ・自分を好きになり自分軸を持つ (情報の取捨選択など)</p>	講義・グループワーク	一般社団法人 日本音声診断協会 代表理事 中島由美子さん
2	7/11 (水) 10:00 ～ 12:00	「家族関係を見つめなおす」	<p>(ねらい) 出産と子育ての話を通して性と生殖の健康と権利に関する自己決定について学ぶ</p> <p>(内 容) ・背負い込まない育児 ・自分らしい出産で家族関係を考える (夫婦関係, 親子関係) ・パートナーとの関係を見つめなおす</p>	講義・グループワーク	助産師 本山よし子さん
3	7/18 (水) 10:00 ～ 12:00	「親業を楽しもう!？」	<p>(ねらい) ・性別役割分担意識からの解放・見直し ・母親業からの解放</p> <p>(内 容) ・子どもとの関わり方 (幼児～思春期) ・新保さんの活動 (子育て支援の場づくりなどを通しての話、サロンの運営にあたっての苦労話など) ・親業のポイント</p>	講義・グループワーク	子育て応援施設 ドリームハウス代表 新保まりこさん

ゆるママの
ススメ

良妻賢母からの解放

参加
無料

連続
講座

保育
あり

SNSにふりまわされずに自分の軸を整え、
オリジナルな親子関係を結び
親業を楽しむヒントを見つけましょう。

7/4
(水)

10:00~12:00

「声をヒントに自分らしく生きる」

～声のセルフマインドフルネス～

講師：中島由美子さん

一般社団法人 日本音声診断協会 代表理事、フルサウンドヴォイス研究所所長

7/11
(水)

10:00~12:00

「家族関係を見つめなおす」

講師：本山よし子さん

開業助産師、日本マタニティ・ヨーガ協会認定インストラクター

7/18
(水)

10:00~12:00

「親業を楽しもう!？」

講師：新保まい子さん

ドリームハウス/Mariko Dream 株式会社代表、新潟 NPO 協会等理事

- ・会場 アルザにいがた(万代市民会館 3 階)
- ・定員 子育てに関心のある女性 20 名
- ・申込方法 電話(246-7713)または「かんたん申し込み」
(詳細は裏面)
- ・保育 14 人 生後 6 か月から就学前まで(要予約)

締切
6/25
(月)

講師紹介



中島由美子さん (一社) 日本音声診断協会 代表理事、フルサウンドヴォイス研究所所長

FMラジオでのパーソナリティー、司会、ナレーターなどの声のプロフェッショナルとして活躍。声だけで周りに様々な変容をもたらす話し方などのトレーニングをおこなっている。

本山よし子さん 開業助産師、日本マタニティ・ヨーガ協会認定インストラクター

妊娠・出産・産後・育児(幼児期)の相談に携わり、マタニティヨーガ・マタニティスイミングのクラスを中心に地域で女性に広く寄り添う。

新保まり子さん ドリームハウス/Mariko Dream 株式会社代表、新潟 NPO 協会等理事

ママの心の居場所、子育て応援施設「ドリームハウス」を同じ育児中のママと 20 年前に立ち上げる。現在 3 館のドリームハウスの運営、居場所づくり支援をしている。新潟日報 assh にて子育てコラム「あなたのままで」連載中。

【申込み方法】

■電話■：246-7713 *月曜日～金曜日 8:30～17:30*

■かんたん申込み■



携帯から⇒

右の二次元バーコードを読み取ると「かんたん申込み」画面につながります



PCから⇒

新潟市役所HP内<アルザにいがた>→<新着情報>の講座募集情報から「かんたん申込み」画面につながります

締切
6/25
(月)

アルザにいがた



問い合わせ



〒950-0082
新潟市中央区東万代町9-1(万代市民会館3F)
TEL:025-246-7713
FAX 025-246-8080
E-mail alza@city.niigata.lg.jp



アルザにいがた HP



◆新潟駅から徒歩7分。駐車場がありません。周辺の有料駐車場をご利用になるか公共交通機関でお越しください。

女性の生き方講座①「良妻賢母からの解放」アンケート結果

回数	日にち	テーマ・講師	受講者数 (保育人数)
第1回	7/4	「声をヒントに自分らしく生きる」 ～声のセルフマインドフルネス～ 中島由美子さん	22人 (8)
第2回	7/11	「家族関係を見つめなおす」 講師: 本山よし子さん(助産師)	20人 (4)
第3回	7/18	「親業を楽しもう!？」 子育て支援施設 ドリームハウス代表 新保まり子さん	19人 (6)

- ◆応募総数: 30人
- ◆受講者数: 29人
- ◆延べ参加人数: 61人
- ◆平均受講者数: 20人
- ◆アンケート回答者数: 18人

問1 講座はいかがでしたか？

満足度 **90.5%**

【感想】

<1回目>

- ・声を新しい視点で捉えられた。子育てや日常生活で取り入れてみたい。
- ・自分をほめることと感謝することをやってみたい。心の状態が声に出ることがわかり納得。
- ・声に色々な力があると知らなかった。すごく興味深かった。トーニングで自分ももっと良い声になりたい。
- ・心の状態が声や身体に影響をおよぼすことがあり、トーニングで調整できることを学んだ。1日1回でもやってみて子どもに愛を注ぎたいと思った。
- ・日々の生活で時間に追われ疲れていたがこの講座のおかげで気分が楽になった。

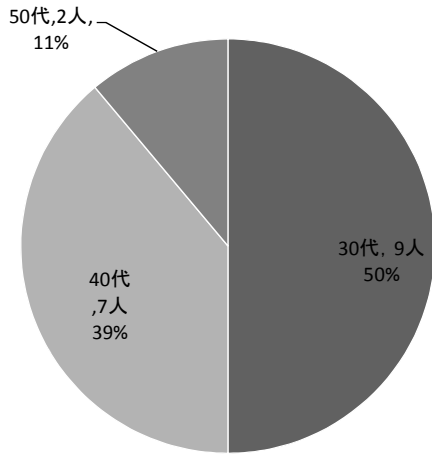
<2回目>

- ・お産、子育てを振り返るいい機会だった。すごく幸せな気持ちを思い出し、心が和んだ。ハグを大切にしていきたいと思う。
- ・先生の実体験に基づくお話がたくさん聞けてとても説得力がありためになった。
- ・妊娠出産は女性の特権だと思う。だからこそこれから母親業を大いに楽しもうと思う。
- ・妊娠、出産、子育てを久しぶりに振り返ることができた。そして女性はとてもすごい力を備えていると実感した。女性に生まれてよかった。

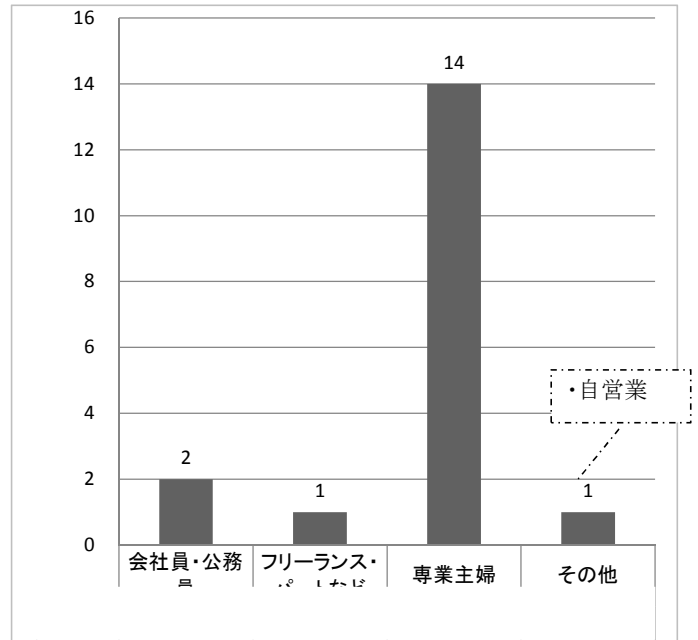
<3回目>

- ・自分を大切に、自分軸を確立したいと思った。
- ・今を感じる。頭で理解していても実際忘れていた。
- ・私も同じような思いで子育てに苦しんできたのですごく共感でき、自分をもっと大切にしようと思った。
- ・貴重な話が聞けた、そうなるには自分はまだ時間がかかりそうだが少し希望を持てた。

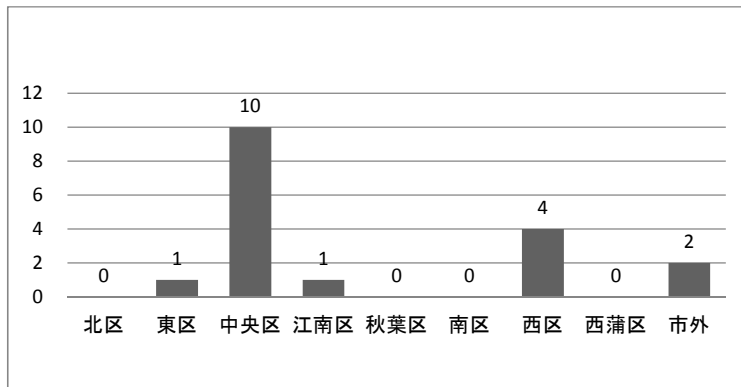
問2 あなたの年代は？



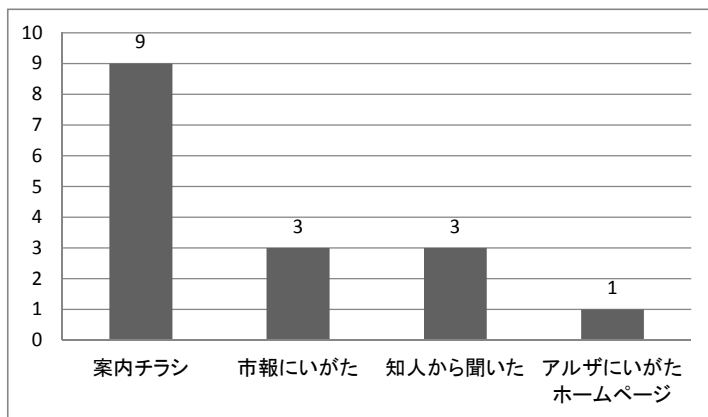
問3 あなたの肩書きは？



問4 あなたのお住まいは？

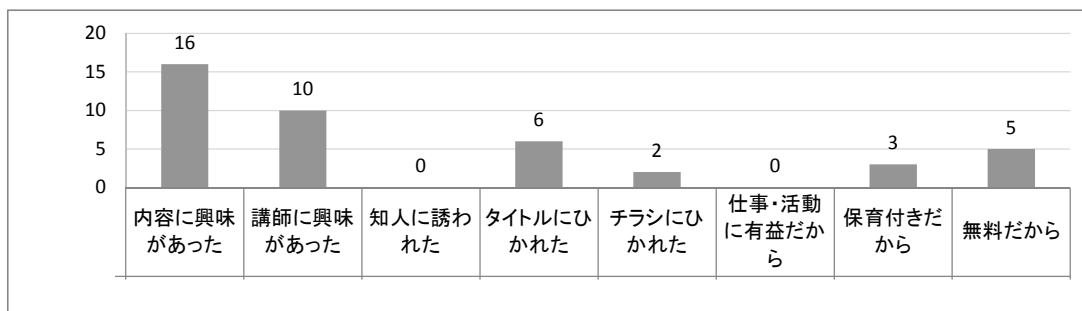


問5 今回の講座を何でお知りになりましたか？(複数回答可)

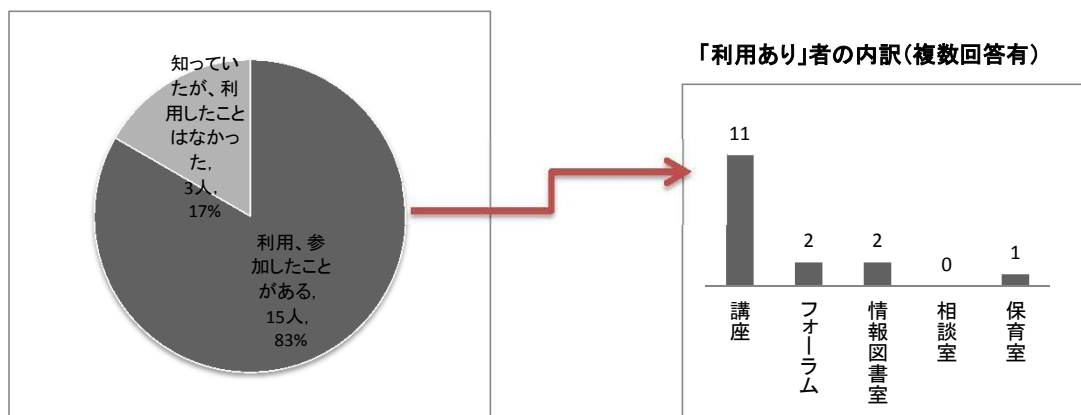


- <チラシ入手場所>
- ・児童館
 - ・鳥屋野図書館
 - ・サフラン(パン屋)

問6 参加された動機は何ですか？(複数回答可)



問7 今回以前にアルザにいがたを利用したことはありますか？



問8 今後参加してみたい講座やセミナー聞いてみたい講師。

「アルザにいがた」についてご意見ご感想など

- ・夫婦関係について、自己肯定感
- ・また今回のテーマの内容を取り上げてほしい
- ・子育て、夫婦で参加できるセミナーをふやしてほしい
- ・モラハラ、子ども

講座を振り返って（企画委員反省会より）

【1回目】

- ・思ったよりも声診断の体験希望者がいた。
- ・もう1回講座を増すか時間を延長したかった。

【2回目】

- ・妊娠・出産・乳幼児・小学生～思春期まで話をつなげたかった。
- ・連続講座にしてもう1回講座を増やしたかった。

【3回目】

- ・講師のありのままを話してくれて、普段しない話が聞けた。
- ・思ったよりも人が集まらなかった。

【まとめ】

- ・濃い内容だったので、対象を絞って10人程度の講座でもよかったかもしれない。
- ・聞いて終わりの講座ではなく身に着けて少しずつ変わっていける実現可能な講座の組み立てが必要。
- ・講師選びは講師経験のある方がよい。

講座プログラム

- 事業名：平成30年度 男性の生き方(子育て期)講座
 □講座タイトル：パパと家族みんなのハッピータイム
 □対象：おおむね3歳までのお子様を育てている男性20人
 □定員：20人 応募多数の場合は抽選
 □保育：15人

学習目標		家事・育児・介護などへの女性へ偏重を解消し、男性も女性も活躍できる社会が、幸せにつながることを理解する。			
行動計画		1-1-1、1-3-1、4-1-3、4-2-1 女性活躍推進計画1(3)②、2(1)②			
回	日時	タイトル(案)	内容	方法	講師・助言者
1	7/14 (土) 10:00 ┆ 12:00	お互いを理解してパパカUPのコミュニケーション術	<ul style="list-style-type: none"> 性別役割分担意識の解消 家族のコミュニケーション 	講義 グループワーク	アトリエチャイブ代表 ちやい文々さん
2	7/21 (土) 10:00 ┆ 12:00	パパと赤ちゃんの仲よしふれあいタイム	<ul style="list-style-type: none"> 子どもとのスキンシップ法(ベビーマッサージ, 抱っこ) 育児への参加促進 	実習 グループワーク	フリーランス保育士、こどもくらしJAM代表 原 知恵子さん
3	7/28 (土) 10:00 ┆ 12:00	人生で大切なことはすべて家庭科で学べる	<ul style="list-style-type: none"> 家事・育児への理解促進 家事・育児を楽しむコツ 	講義	男性家庭科教師 末松 孝治さん

- ※参加者 1回目 男性+パートナー
 2回目 男性+子
 3回目 男性のみ

パパと家族の ハッピータイム

子育て中のパパ
向け講座です！

7/14 (土)
10:00~12:00

パパ・ママ お互いの気持ち伝わってる？

「お互いを理解して
パパ力UPのコミュニケーション術」

講師
ちやい文々 さん

7/21 (土)
10:00~12:00

ベビーマッサージと抱っこで赤ちゃんニッコリ♡

「パパと赤ちゃんの
仲良しふれあいタイム」

講師
原 知恵子 さん

7/28 (土)
10:00~12:00

家事・育児を楽しむコツって？

「人生で大切なことは
すべて家庭科で学べる」

講師
末松 孝治 さん

- 会場：新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」
- 対象者：おおむね3歳までのお子様の父親
講座1回目はパートナーと、2回目はお子様と参加
- 定員：20組 応募多数の場合は抽選 ※全3回参加し、パートナーも参加できる方優先
保育15人 生後6か月から就学前まで
- 申込み方法：裏面参照

参加
無料

保育
あり

☆充実の講師陣☆

① 7 / 1 4

コミュニケーションクリエイター
子育てエッセイスト
ちゃい文々 さん

多様性人権啓発トレーナー、男女脳差理解によるダイバーシティコミュニケーション・インストラクター、グラフィックデザイナー、イラストレーターなどマルチに活動中。テレビ・ラジオのコメンテーターとしても出演。著書/「子育ては泣き・笑い・八起き」幻冬舎



② 7 / 2 1

フリーランス保育士
こどもくらしJAM代表
原 知恵子 さん

東京都出身。第1子出産まで13年間、都内の保育園に勤務。出産後新潟へ移住し、フリーランス保育士として親子のコミュニケーション教室を開催。



③ 7 / 2 8

男性家庭科教諭
末松 孝治 さん

福島県唯一の男性家庭科教師として教鞭を執るかたわら、家庭科の重要性を広めるための講演活動を行っている。著書/「人生で大切なことはすべて家庭科で学べる」文芸社



お申込みの方法

締切 7月4日（水）

- 申込 「かんたん申込み」 または 電話でアルザにいがた
- 保育15人 生後6カ月から就学前まで 定員を超えた場合抽選



携帯
スマホから⇒

右の二次元バーコードを読み取ると
「かんたん申込み」画面につながります



アルザにいがた
PCから⇒

新潟市役所HP内<アルザにいがた>→<新着情報>
の講座募集情報から「かんたん申込み」画面につながります

問い合わせ



〒950-0082
新潟市中央区東万代町9-1(万代市民会館3F)
TEL:025-246-7713
FAX 025-246-8080
E-mail alza@city.niigata.lg.jp



アルザにいがたHP



◆新潟駅から徒歩7分。駐車場がありません。周辺の有料駐車場をご利用になるか公共交通機関でお越しください。

パパと家族みんなのハッピータイム

<定員20人 申込者数 13人 アンケート提出 8人>

	日時	タイトル	講師	参加者数			保育数
				父親	母親	子	
1回目	7月14日(土) 10:00~12:00	お互いを理解してパパ力UP のコミュニケーション術	ちやい文々さん コミュニケーションクリエイター 子育てエッセイスト	9	9	/	7
2回目	7月21日(土) 10:00~12:00	パパと赤ちゃんの仲良しふ れあいタイム	原知恵子さん フリーランス保育士 こどもくらしJAM代表	6	/	6	1
2回目	7月28日(土) 10:00~12:00	人生で大切なことは すべて家庭科で学べる	末松孝治さん 男性家庭科教師	8	/	/	4

講座全体をとおして

満足度 93.8 %

講座の感想

【1回目】

《父親》

- ・子どものことはやっぱり母親だろうと誤解している所があったので、今後は改めて子どものことは両親で考えてしっかりやっと思いいます。
- ・ジェンダー、ダイバーシティ、男女脳差など短時間ですがいろいろな話が聞けて有意義でした。家庭の中でのコミュニケーションのとり方・考え方はとても参考になりました。ぜひ実践したいと思います。
- ・夫婦のコミュニケーションの方法は、子どもとのコミュニケーションとの方法にもつながっている部分が多いことに気が付きました。
- ・言葉で伝えることの大切さを学ぶことができました。その伝え方にも工夫してよい関係を続けていけるよう心掛けたいです。

《母親》

- ・もっと夫に寄り添い、自分が話を聴いてもらっているように、夫の話も聴いてあげたいと思いました。感謝の気持ちを忘れずに(イライラするときもあるけど)毎日楽しく過ごしたいです。
- ・夫婦2人で参加できてよかったです。子育てセミナーはいろいろ参加したことがありますが、夫婦で参加することでお互いを大切にしようという気持ちがよみがえってきました。
- ・とても分かりやすい話で参加できてよかったです。きっと今日から夫も少し変わってくれるのでは？と期待しています。お互いの考えが違うことは当然なのになんでわかってくれないの？やってくれないの？のことが多かったですが、聴くことを大切に、Iメッセージを心がけたいと思います。

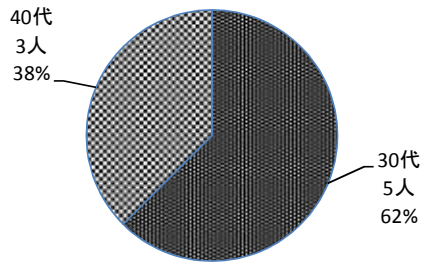
【2回目】

- ・子ども、家族とのコミュニケーションの大切さを皆さんとのお話の中で確認することができました。参加できてよかったです。
- ・2人目の子なので、今回の集まりで改めて赤ちゃんとの接し方について考えさせられた。男性の集まりは少ないので、このような会はたくさん開いてほしい。
- ・普段聞けない話を聞くことができよかった。父親向けのセミナーをまたやってもらいたい。
- ・赤ちゃんとのふれあい方がすべて良かったです。他の赤ちゃんと一緒に過ごす時間が持てて良かったと思います。
- ・抱っこの仕方、ベビーマッサージは教わったことがなかったのでとてもためになった。子どもにたくさんしてあげようと思います。また、父親としての役割、家族とどう接するかを深く考えるよい機会になったので、今後も機会を見つけて考えたいです。

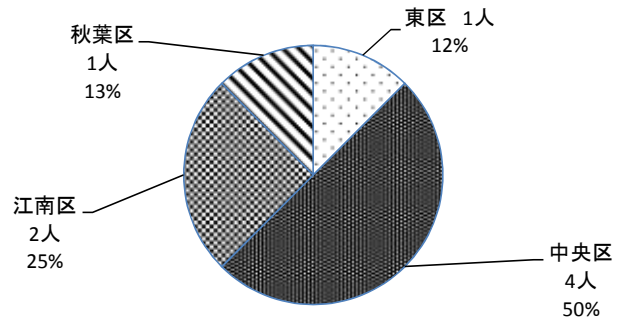
【3回目】

- ・具体的なわかりやすいお話で楽しく聞きました。家庭科が社会生活科のような形でより充実されればよいと思います。
- ・家庭内のふとした小さなきっかけで、「ありがとう」が生きてくることを学んだ。
- ・経験や体験をもとにした講義がとてもわかりやすくおもしろかった。末松さんのお話をまた別のテーマで聞いてみたいと思った。
- ・普段仕事や家にいるなど生活しているだけではなかなか聞くことができない話を聞くことができよかった。

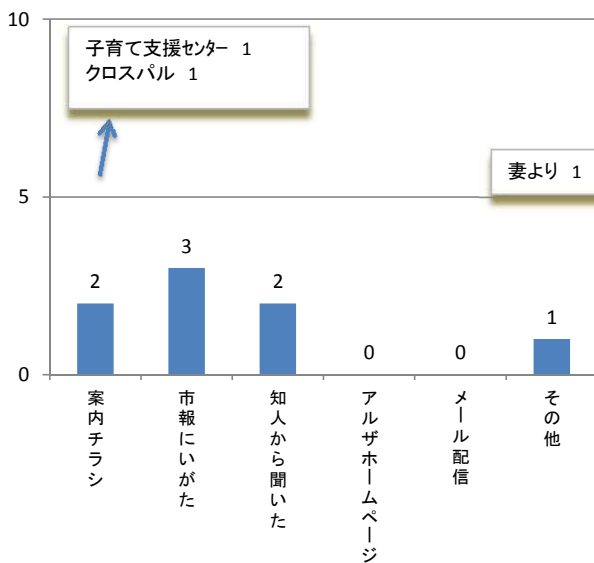
年代をお聞かせ下さい。



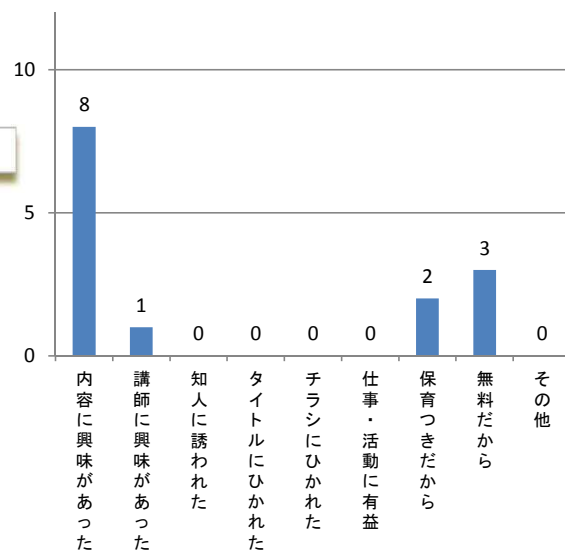
お住まいは？



講座を何でお知りになりましたか？（複数回答）



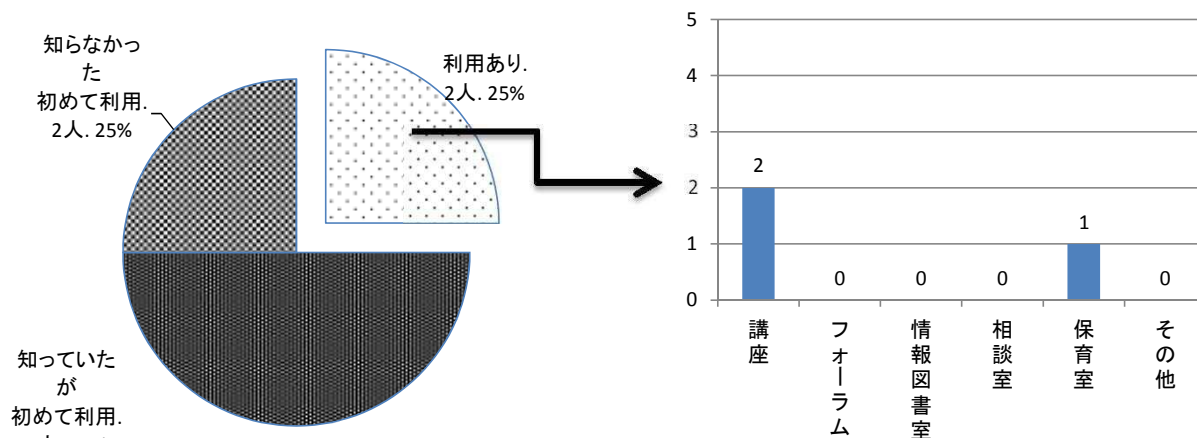
参加された動機は何ですか？（複数回答）



講座全体を通しての意見記入欄

- ・様々な視点、内容の3回の講義で本当に参考になりました。これからもっと家事を意識してがんばっていきましょうと思います。
- ・2回目のベビーマッサージを急用のため欠席したが、1・3回目はどちらともとても勉強になり、家庭で実行・実践してみたいと思った。
- ・とても勉強になりました。どうしても女性視点になりがちだと思う部分もあった（男性は家のことをやらないものという感じ）。家事・育児をやっている男性向けの講座も聞きたいと思いました。
- ・男性向けの講座が少ないので、参加できてとてもためになった。

今回の講座以前にアルザにいがたを利用されたことがありますか？



「利用あり」者の内訳(複数回答)

今後企画してほしい内容や講師、またアルザにいがた全体について

- ・〇〇歳時向けのパパ講座
- ・参加者が少ないのがもったいない、すばらしい講義だと思います。周知してほしいです。
- ・子どもを持つ父親同士の仲間づくりができるような集まり

講座を振り返って

【第1回】

- ・夫婦で参加することで、お互いの思いを共有できる場になったと思う。
- ・家族でコミュニケーションについて考えるきっかけを提供できた。

【第2回】

- ・父と子2人だけで外出するのは初めてという親子もいて、ベビーマッサージなどを通して、父親が直接子どもと触れ合う良い機会になった。

【第3回】

- ・講師の具体的な体験談を交え、家事・育児への参画についてわかりやすい内容だった。

【課題】

- ・子育て世代の男性にどうやったら講座の情報を届けることができるか。

講座プログラム

- 事業名：平成30年度 女性の生き方講座②
 □講座タイトル：世代・性別をこえたケアって？～出産から介護まで～
 □対象：女性
 □定員：20人 応募多数の場合は抽選
 □保育：10人

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦が子どもを安心して産み育てられるように、支援者としてのあり方を見出す。 ・認知症の症状と対処法を知ること、介護をする人もされる人も心身ともに無理のないライフワークを送る。 ・「ケア」について話をする中で、自分自身の新たなスタートとする。 				
行動計画	1-1-1、4-2-1、4-2-2、5-2-3				
回	日時	タイトル(案)	内容	方法	講師・助言者
1	9/28 (金) 19:00 ～ 21:00	「産む・生まれる」をサポートする～周産期ケアの視点から～	<ul style="list-style-type: none"> ・今どきの妊娠・出産を学び、世代間の認識の違いを知る。 ・妊婦への支援の仕方 ・妊婦・親・夫、それぞれの思いの伝え方を学ぶ。 	講義 グループ ワーク	みちつき助産院 院長 更科佳子さん
2	10/5 (金) 19:00 ～ 21:00	「ひと」を中心においた介護～認知症ケアの視点から～	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひと」の1つの側面としての認知症の理解を深める。 ・認知症を知り、相手を知り、自分を知り、より良い介護について考える。 	講義 グループ ワーク	作業療法士 佐藤庄吾さん
3	10/12 (金) 19:00 ～ 21:00	「ケア」とは何か～哲学対話～	<ul style="list-style-type: none"> ・個人だけのケアを他者と分かち合うケアにする方法を考える。 	ワークシ ョップ	新潟大学人文学部 准教授 阿部ふく子さん

世代・性別をこえたケアって？

～出産から介護まで～



今どきの妊娠・出産を知り、支援の仕方を学びましょう。

9/28(金)
19時～21時

『産む・生まれる』をサポートする
～周産期ケアの視点から～

講師

更科 佳子 さん

認知症を知り、相手を知り、自分を知り、よりよい介護について考えましょう。

10/5(金)
19時～21時

『ひと』を中心においた介護
～認知症ケアの視点から～

講師

佐藤 庄吾さん

みんなで輪になって、「ケア」について考えてみましょう。

10/12(金)
19時～21時

『ケア』とは何か
～哲学対話～

講師

阿部 ふく子さん

- 会場： 新潟市男女参画推進センター「アルザにいがた」
- 定員： 女性20人（応募多数の場合は抽選）
- 保育： 10人 生後6ヶ月から就学前まで
- 申込締切： 9月18日（火）
- 申込方法： 裏面参照



**参加
無料**

**保育
あり**

☆講師紹介☆

① 9/28 (金)

みちつき助産院 院長
助産師
更科 佳子 さん



総合病院に10年勤務後、平成11年にみちつき助産院を開院。おうちと医療機関の間で、妊娠・出産・子育て中の女性に寄り添いサポートを行っている。

② 10/5 (金)

特定医療法人楽山会 三島病院
作業療法士
佐藤 庄吾 さん



認知症の方を主な対象とした病院に勤務。多方面で学びを深めつつ各種活動に参加、誰もが暮らしやすいまちづくりを模索中。

③ 10/12 (金)

新潟大学人文学部准教授、博士(文学)
阿部 ふう子 さん



専門は近代ドイツ哲学、哲学教育。哲学プラクティスの活動に関心があり、地域や学校と連携して哲学対話を推進している。

お申込みの方法

締切 9月18日(火)

- 申込 「かんたん申込み」 または 電話でアルザにいがた
- 保育10人 生後6カ月から就学前まで 定員を超えた場合抽選



携帯
スマホから⇒

右の二次元バーコードを読み取ると
「かんたん申込み」画面につながります



アルザにいがた

PCから⇒

新潟市役所HP内<アルザにいがた>→<新着情報>
の講座募集情報から「かんたん申込み」画面につながります

問い合わせ



〒950-0082
新潟市中央区東万代町9-1(万代市民会館3F)
TEL:025-246-7713
FAX 025-246-8080
E-mail alza@city.niigata.lg.jp



アルザにいがたHP



◆新潟駅から徒歩7分。駐車場がありません。周辺の有料駐車場をご利用になるか公共交通機関でお越しください。

女性の生き方講座②「世代・性別をこえたケアって？～出産から介護まで～」アンケート結果

回数	日にち	テーマ・講師	受講者数 (保育人数)
第1回	9/28	『産む・生まれる』をサポートする～周産期ケアの視点から～ 講師 更科佳子さん(みちつき助産院院長)	9人 (0)
第2回	10/5	『人』を中止においた介護～認知症ケアの視点から～ 講師 佐藤庄吾さん(特定医療法人楽山会三島病院作業療法士)	9人 (0)
第3回	10/12	『ケア』とは何か～哲学対話～ 講師 阿部 ふく子さん(新潟大学人文学部准教授)	9人 (0)

◆応募総数:11人 ◆受講者数:11人 ◆延べ参加人数:27人
◆平均受講者数:9人 ◆アンケート回答者数:9人

問1 講座はいかがでしたか？

満足度 88.9%

【感想】

<1回目>

- ・“おかあさんファースト”の出産・育児をサポートしていくことはとても大切だと思いました。
- ・結婚・出産前にお話を聞いて本当に良かったです。自分が納得して選んだパートナー、お産、育児、生き方をしていくためのヒントになりました。
- ・子育て支援事業を担当していますが、「お母さんファーストで傾聴、共感、承認」。スタッフの方たちにも聞いてもらいたいお話でした。
- ・産後直後の大きな変化。夫や周囲のケアがとても大切だと感じます。言葉の掛け方、気をつけたいと思いました。

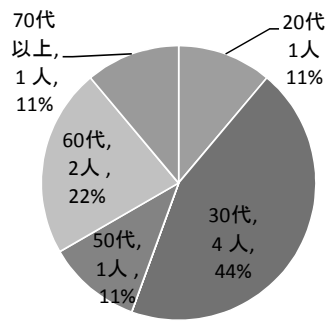
<2回目>

- ・パーソン・センタード・ケアの4つの大切なことは、認知症の方だけでなくすべての人に共通だと思いました。つかず離れず見守ることも大切だと気付きました。
- ・高齢化社会が進む中、誰もが認知症になる可能性があること、自身が病んだ時を思うと介護も対象者のこれまでを思い、尊敬の気持ちを忘れず対応したい。
- ・身内に認知症者がいて、対応や捉え方についてとても参考になりました。家族にも伝えていけたらと思います。
- ・認知症に対するイメージが不安やマイナスなものから、『人』としての理解が何より大切で、自分事のようにとらえることが大切だと学ぶことができました。ありがとうございました。

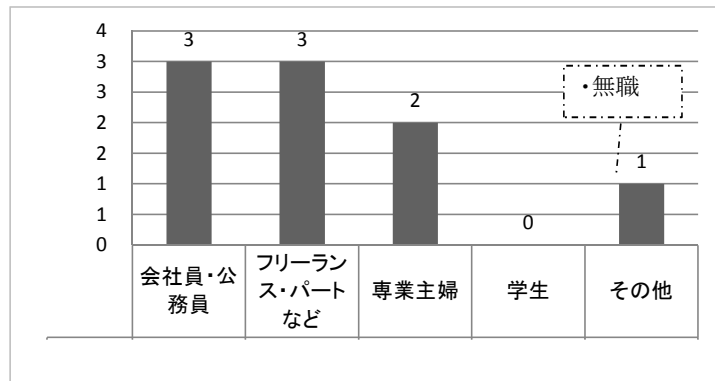
<3回目>

- ・頭に問いを与える、自分の言葉で話すということが響きました。話すことが楽しくなりそうです。
- ・円になって対話形式で話をする場が職場や家族や様々な所であるといいなあと感じました。とても有意義な時間でした。
- ・安心・安全な雰囲気でお話ができ楽しかったです。相手を思いやり、力を入れすぎない自然な姿で接することがケアにつながるのではないかと最後に思いました。
- ・最後のワーク「ケア」一つとっても各々見方、感じ方が違うと再発見！
- ・「哲学」とケアの連携？一寸かけ離れた講座に思われた。言葉が専門的すぎでは？

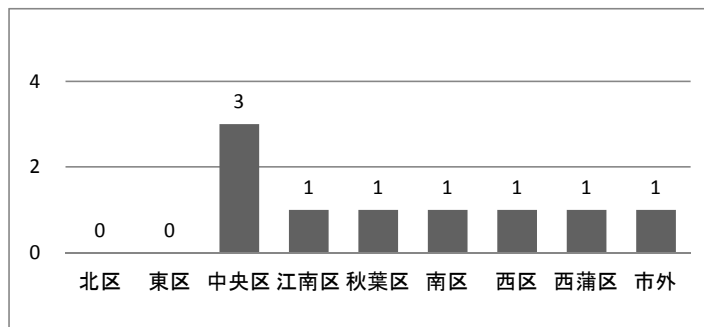
問2 あなたの年代は？



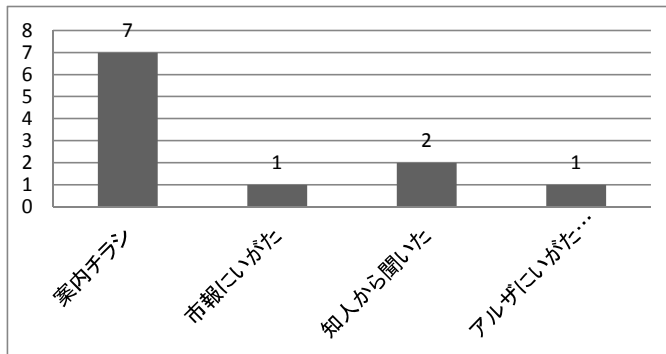
問3 あなたの肩書きは？



問4 あなたのお住まいは？

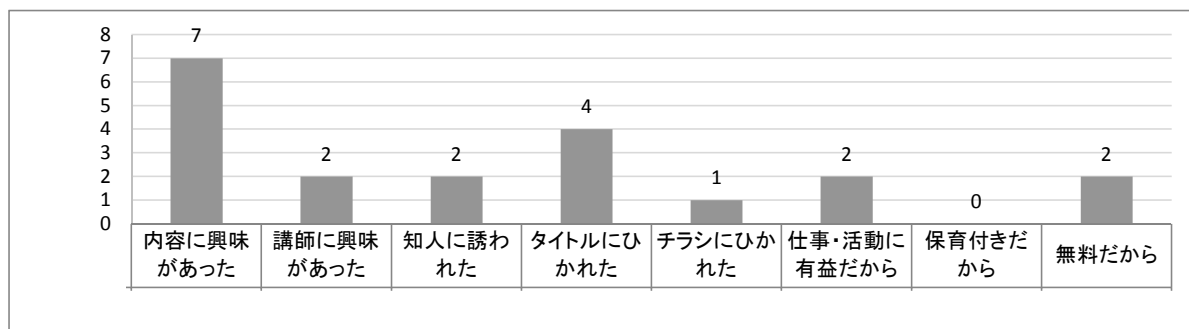


問5 今回の講座を何でお知りになりましたか？(複数回答可)

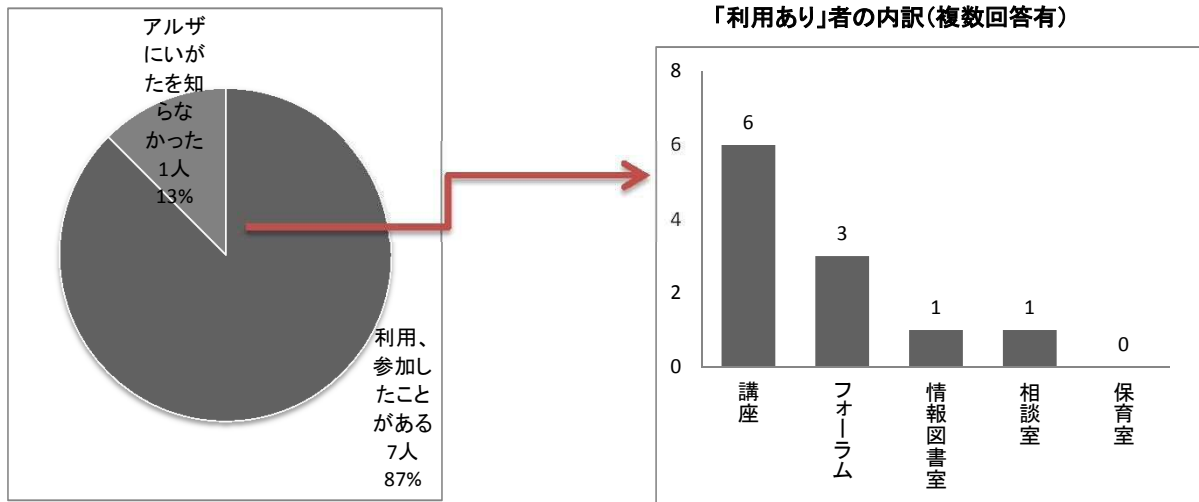


<チラシ入手場所>
 アルザにいがた
 公民館
 知人から

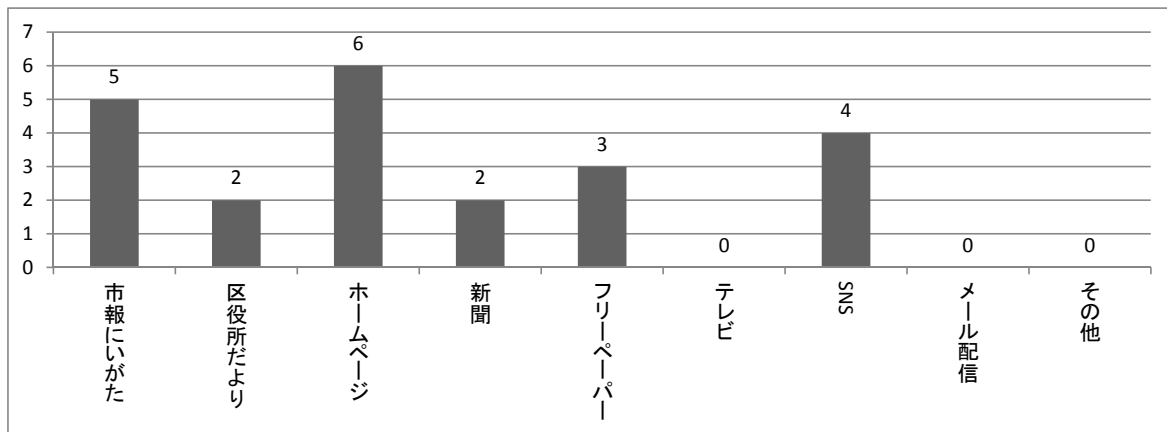
問6 参加された動機は何ですか？(複数回答可)



問7 今回以前にアルザにいがたを利用したことはありますか？



問8 アルザに限らず、普段あなたは講座に関する情報をどこから入手していますか？



問9 今後企画してほしい内容や講師、「アルザにいがた」全体についてのご意見ご感想など

- ・駐車場について、一考を要す。
- ・今回とてもためになる講座でした。企画された方ありがとうございました。

講座を振り返って (企画委員反省会より)

【第1回】

- ・講師が気さくな語り口調で、とてもわかりやすかったと思う。
- ・今後出産という方からおばあちゃん世代まで、幅広い年代の方にケアについて考えてもらえる内容だった。

【第2回】

- ・講義を聞くだけでなく、グループワークを多く取り入れた内容で、参加者同士自然に話げできた。
- ・認知症介護の具体的な方法を求めて参加した人には、少し思っていたものと違う内容だったようだ。

【第3回】

- ・前2回の講義のあと、まとめとしてケアについて話げできたのでよかった。
- ・知識を提供するだけでなく、自分で考え答えを出す場となりよかった。
- ・パワーポイント(資料)の文字が小さかった。

【課題】

- ・開催日の設定について、金曜日の夜に3週連続講座は参加が難しかったかもしれない。
- ・広報について、イベントなど市民が集まるところにチラシを置いたり、講師から知り合いに声をかけてもらうなどできればよかった。

講座プログラム

- 事業名：平成30年度 再就職支援講座
- 講座タイトル：ママのための再就職応援セミナー
- 対象・定員：結婚や育児などで退職し、再就職を考えている女性 15人
- 保育：15人

学習目標	再就職への不安を乗り越え、自分らしい働き方ができるよう支援する				
行動計画	1-1-1 男女共同参画推進のための意識啓発 3-2-2 女性の職業能力の開発支援と就業支援				
回	日時	タイトル	内容	方法	講師・助言者
1	7/13 (金) 10:00 ┆ 12:00	自分らしさに 目を向ける	自分のキャリアをふり返る	講義 グループ ワーク	若槻彩子さん キャリアコン サルタント
2	7/20 (金) 10:00 ┆ 12:00	これからの人 生を考える	キャリアプランを描く		

※本講座受講後、マザーズハローワーク新潟主催講座への参加を促す

※9月下旬に、同施設の保育園・幼稚園利用説明会がある

※平成31年4月の就職を見据えた講座内容とする

ママのための再就職 応援セミナー

参加
無料 保育
あり

「私に合う仕事、私に合う働き方って何だろう？」
「これから子供にかかるお金はどれくらい？」
そんな不安、モヤモヤを抱えるママの新たな一歩を応援します。
自分らしさに目を向けて、あなたと家族の将来を考えましょう！

※雇用保険受給者の方は、求職活動実績となります。

7/13

10:00~12:00

自分のキャリアをふり返る

家事と育児に追われる日々の中で
働いていた頃の経験を振り返りながら
自分らしく働くにはどうしたらよいか
考えてみましょう。

7/20

10:00~12:00

わたしに合う仕事の探し方

自分や家族の将来の姿をイメージして
暮らしとお金の見通しを立てながら
自分に合った働き方やキャリアを
考えてみましょう。



わかつき あやこ
講師 若槻 彩子 さん

Wcareer Office 代表 キャリアコンサルタント
地元出版社、リクルート勤務、専業主婦期間を経て Wcareer Office 設立。
現在は 8 歳双子+2 歳児の母&キャリアコンサルタントとして、
キャリアカウンセリングや各種研修・講演など、学生、女性、社会人を中心
としたキャリア支援を行なう。(https://wcareer.jimdo.com/)

■申込締切 7月4日(水)

- 会場 アルザにいがた
- 定員 15人(※応募多数の場合は抽選)
- 保育 15人(※6か月からの就学前児)
- 対象 結婚や育児などを機に退職し、再就職を考えている概ね20代から40代女性
- 申込 裏面をご覧ください

❖ 昨年度の参加者の声 ❖

一步、踏み出そう
と思いました。

求職している方と
話ができ
よかったです。

グループワーク
で新しい発見が
ありました。

不安が軽く
なりました。



❖ 申込み方法 ❖

◆お電話 025-246-7713 月曜日～金曜日 8:30～17:30

◆かんたん申込み



スマートフォン・
携帯から⇒

右の二次元バーコードを読み取ると
「かんたん申込み」画面につながります



PCから⇒

新潟市役所HP内<アルザにいがた>→<新着情報>
の講座募集情報から「かんたん申込み」画面につながります

アルザにいがた



◆受講の可否はハガキでお知らせします。

問い合わせ



〒950-0082
新潟市中央区東万代町9-1(万代市民会館3F)

TEL:025-246-7713

FAX 025-246-8080

E-mail alza@city.niigata.lg.jp



アルザにいがたHP



◆新潟駅から徒歩7分。駐車場がありません。周辺の有料駐車場をご利用になるか公共交通機関でお越しください。

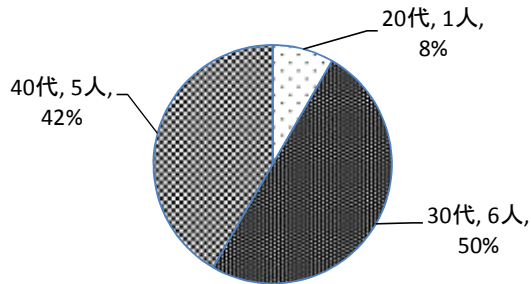
平成30年度 再就職支援講座 ママのための再就職応援セミナー

講師:キャリアコンサルタント 若槻 彩子

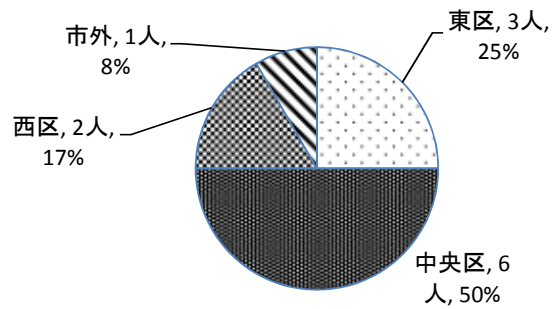
<定員15人 申込者数 19人 アンケート提出 12名>

	日時	タイトル	参加者数	保育数
1回目	7月13日(金) 10:00~12:00	自分のキャリアをふり返る	14	4
2回目	7月20日(金) 10:00~12:00	わたしに合う仕事の探し方	14	5

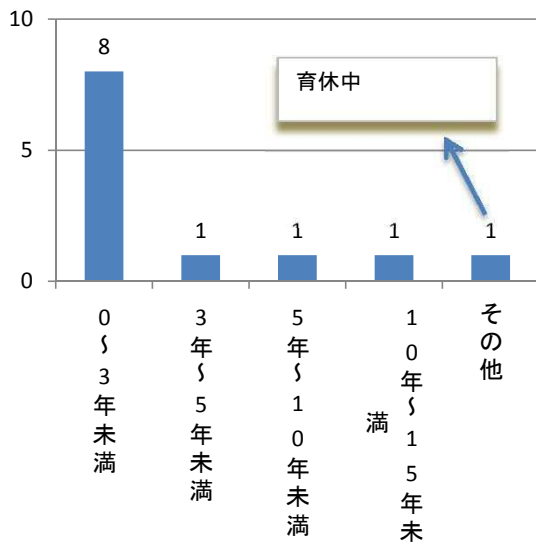
問1 年代をお聞かせ下さい。



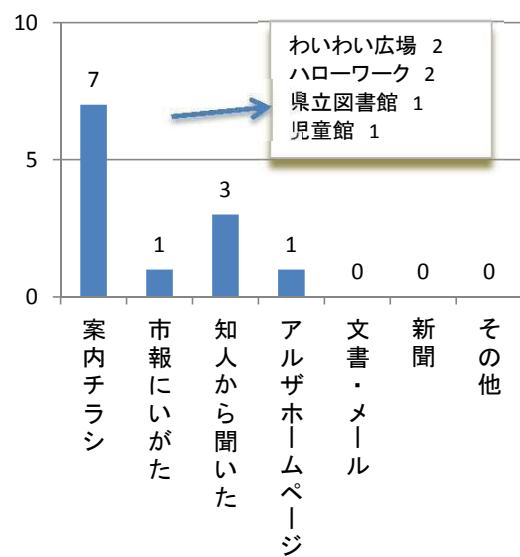
問2 お住まいは？



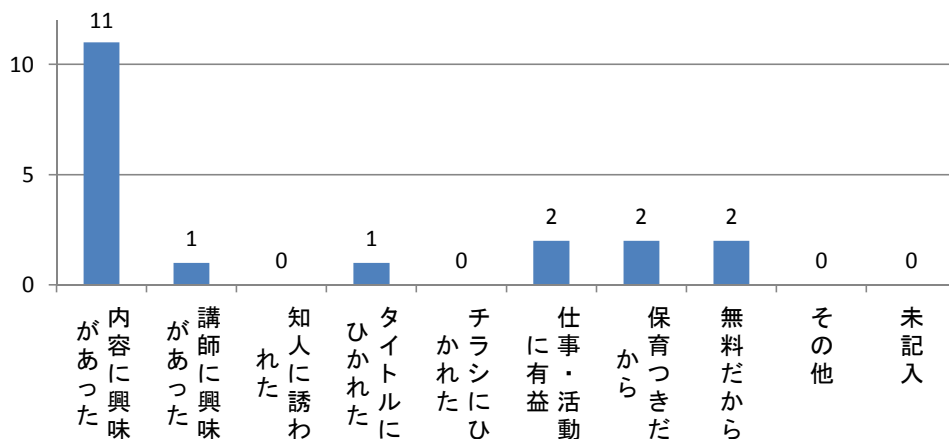
問3 あなたの仕事をしていない期間は？



問4 講座を何でお知りになりましたか？(複数回答)



問5 参加された動機は何ですか？(複数回答)



問6 講座全体を通していかがですか？

満足度 97.7 %

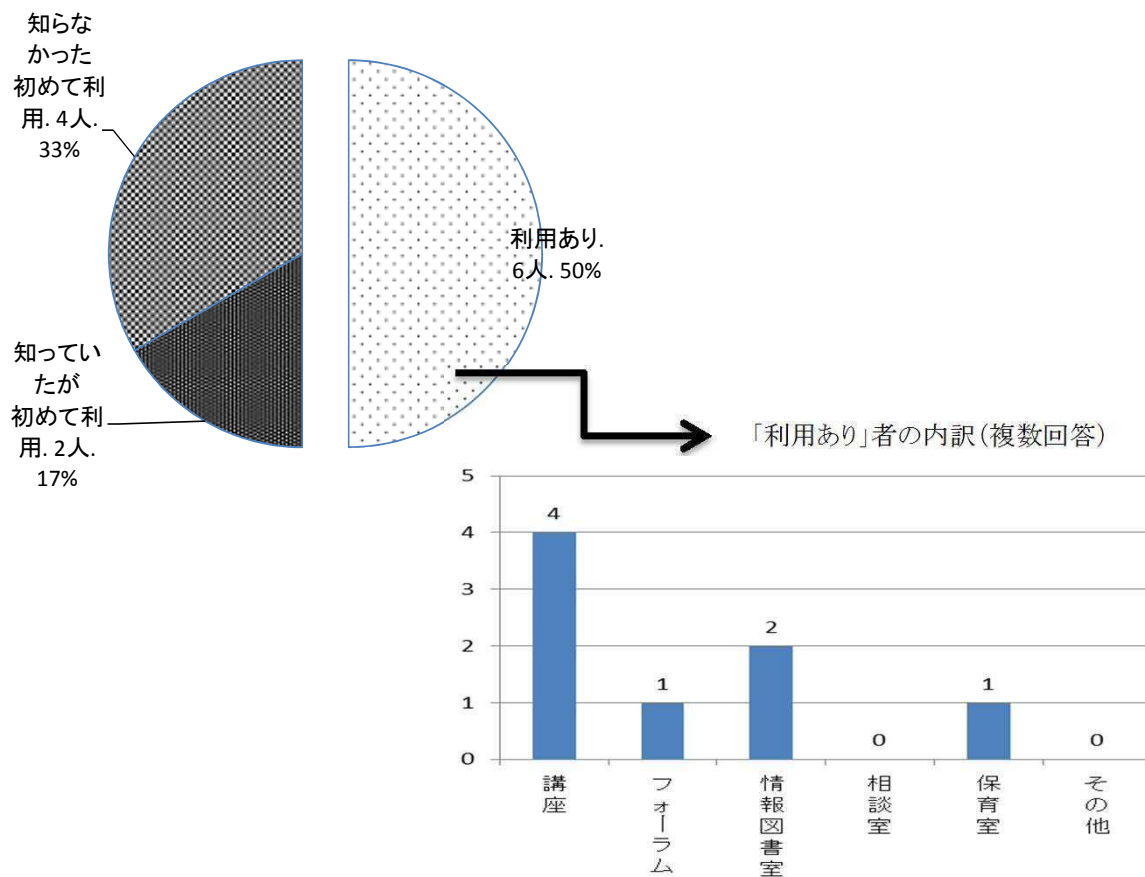
<講座開始前と終了後でどのような意識の変化がありましたか？>

- ・仕事を探すきっかけになった。
- ・仕事に対する考え方、これから育児をしながらの生活スタイル、ポジティブに考えられるようになった。
- ・ばく然とした不安がすっきりしました。参加して良かったです。
- ・やりたいと思っていることは実際に行動に移してみる。
- ・何をどうしたいのかははっきりした。自分のやりたい事がわかった。
- ・漠然と再就職することだけを考えていたけど、キャリアデザインをして家族全体で今と未来を思い描いて考える大切さを学びました。
- ・5、10年後に向けて、今すべきことを見つけられました。

<実際に行動したいと思ったことがありましたら教えてください。>

- ・情報誌をみる。ネットでさがす。
- ・まず家族と思いを共有していきたいです。
- ・上司や義両親への相談、夫や家族に想い夢を伝える。
- ・正社員に挑戦したいです。
- ・パソコンを買う。
- ・思っていること考えていることを紙に書いてみる。もう一度時間つかってキャリアデザインしてみて夫と協力する。
- ・面接のセミナーなどを受けてみようと思いました。

問7 今回の講座以前にアルザにいがたを利用されたことがありますか？



問8 「女性が働く」ことについて今後企画してほしい内容や講師、またアルザにいがた全体について

- ・家事との両立、夫への不満の対処のしかた。
- ・とても元気になる会でした。ありがとうございました。
- ・駐車場の割引券が欲しい。
- ・子どもが一緒なので、駐車場がほしいです。せっかく興味のある内容があっても参加できないです。
- ・年の差婚での働き方や、育児と介護を同時にされている方のお話が聞きたいです。

講座を振り返って

- ・昨年の反省から、ターゲットの年代を絞り、その年代にあったプログラムを組んだことにより、参加者の満足度が高いものになった。
- ・キャリアデザインシートを作成することにより、今やるべきことをはっきりすることができた。

講座プログラム

□事業名：平成30年度 相談室連携講座

□講座タイトル：「自己尊重トレーニング（セルフエスティームトレーニング）講座～わたしを大切にするために～」

□対象：女性15人

□定員：15人 応募多数の場合は抽選

□保育：10人

学習目標		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの女性が日々の暮らしの中で抱える様々な問題を、社会との繋がりの中で考える。 自分を認め、自身と向き合いながら生きていくためのスタート点を見つけることや他者とのよりよい関係作りを実践的に学ぶ機会とする。 			
行動計画		1-1-1			
回	日時	タイトル	内容	方法	講師・助言者
1	5/9 (水) 10:00 ┆ 12:00	わたしを知ろう	(ねらい) “自分”を知るための導入をする。自己尊重トレーニングとは何か。自分の考え方やこだわりの傾向を知る。今のありのままの自分を確認する。 (内容) オープニング	講義と ロールプ レイ	NPO 法人 新潟フェミニストカウ ンセリングセンター まど 寺崎 泰子 さん (フェミニストカウンセ リング・アドヴォケイタ ー)
2	5/16 (水) 10:00 ┆ 12:00	わたしの気持ちを探そう ①・②	(ねらい) 自己史グラフのキーワードに基づき、自己史グラフを作成。客観的に自分をふりかえる。 (内容) 感情をとらえる 自己史グラフ作成		
3	5/23 (水) 10:00 ┆ 12:00	わたし再発見 ①・②	(ねらい) 自己史グラフをグループ内で発表。発表することにより、さらに自己理解を深める。互いに共感を得る中で、メンバーシップを体感する。 (内容) 自己史発表		
4	5/30 (水) 10:00 ┆ 12:00				
5	6/6 (水) 10:00 ┆ 12:00				

6	6/13 (水) 10:00 } 12:00	のびやかな わたしへの ステップ	(ねらい) ありのままの自分を大事に すること、肯定することの大切 さを確認し、改めて自己尊重 トレーニングとは何かをふりか える。一步踏み出せるステップ としていく。			
7	6/20 (水) 10:00 } 12:00	①・②	(内容) 自己尊重練習	講義と ロールプ レイ	NPO 法人 新潟フェミニストカウ ンセリングセンター まど	
8	6/27 (水) 10:00 } 12:00	未知なる わたしへの ステップ	(ねらい) ありのままの自分を大事にす ること、肯定することの大切 さを確認し、改めて自己尊重 トレーニングとは何かをふりか える。一步踏み出せるステップ としていく。			寺崎 泰子 さん (フェミニストカウンセ リング・アドヴォケイタ ー)

わたしを大切にするために

SET Self Esteem Training

自己尊重

トレーニング講座

自分に自信がない
ついみんなに
合わせちゃう...

こんな気持ちで悩んでいませんか？
この講座では自分自身への理解を深め、
自分を大切にすることを学びます。
“わたし”らしい一歩を踏み出しましょう。

日 程		講 座 内 容
第 1 回	5/9 (水) 10:00-12:00	「わたしを知ろう」 ◆オープニング ◆“わたし”を知る
第 2 回	5/16 (水) 10:00-12:00	「わたしの気持ちを探そう①・②」 ◆“わたし”の感情をとらえる ◆自己史グラフの作成
第 3 回	5/23 (水) 10:00-12:00	
第 4 回	5/30 (水) 10:00-12:00	「わたし再発見①・②」 ◆自己史に挑戦 ◆“わたし”を語る・聴く
第 5 回	6/6 (水) 10:00-12:00	
第 6 回	6/13 (水) 10:00-12:00	「のびやかなわたしへのステップ①・②」 ◆自己尊重練習 ◆肯定的な“わたし”表現
第 7 回	6/20 (水) 10:00-12:00	
第 8 回	6/27 (水) 10:00-12:00	「未知なるわたしへのステップ」 ◆“わたし”を大切にするために ◆クロージング

講 師
寺崎 泰子さん
NPO法人
新潟フェミニスト
カウンセリングセンター
まど

各回 講義と
グループワーク

参加 無料 連続 講座 保育 あり

日時 5月9日～6月27日 毎週水曜
全8回 (10:00～12:00)

会場 アルザにいがた 306(万代市民会館3階)

定員 女性 15 人 (8回すべて受講可能な方)
※過去に同講座の受講歴がないこと
※応募多数の場合抽選

保育 定員 10 人 (6か月以上未就学児)

申込み 電話、郵便はがき、かんたん申込み
※詳しくは裏面をご覧ください。

締切 4月26日(木) 必着

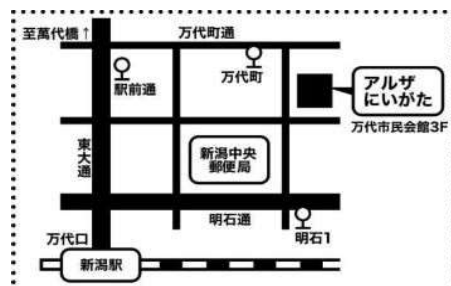
問い合わせ



〒950-0082
新潟市中央区東万代町9-1(万代市民会館3F)
TEL:025-246-7713
FAX 025-246-8080
E-mail alza@city.niigata.lg.jp



アルザにいがた HP



◆新潟駅から徒歩7分。駐車場がありません。周辺の有料駐車場をご利用になるか公共交通機関でお越しください。

かんたん申込みの方法



携帯から⇒

右の二次元バーコードを読み取ると
「かんたん申込み」画面につながります



PCから⇒

新潟市役所HP内<アルザにいがた>→<新着情報>
の講座募集情報から「かんたん申込み」画面につながります

アルザにいがた



郵便はがき記入方法 ※下記の記入図をご参考下さい。

(おもて)



〒950-0082

新潟市中央区東万代町9-1
アルザにいがた
「SET講座」 係

(うら)

あなたの

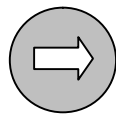
- ① 〒住所
- ② 氏名(ふりがな)
- ③ 年齢
- ④ 電話番号

.....
以下は保育希望の場合記入

- ⑤ 子どもの名前(ふりがな)
- ⑥ 子どもの年齢(月齢まで)

お申込みから受講までの流れ

講座のご案内

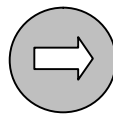


- ・電話で申込
- ・ポストに投函
- ・かんたん申込み

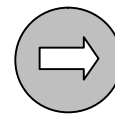


4月26日(木)締切

アルザにいがた
から返信



4月27日(金)頃



受講開始



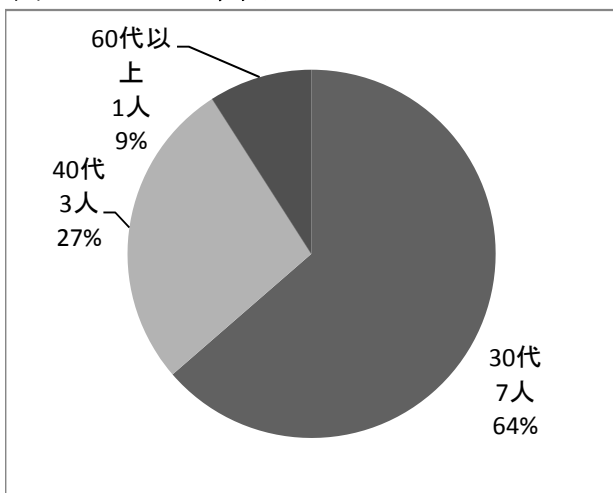
平成30年度 アルザにいがた主催講座アンケート集計結果 【自己尊重トレーニング講座(SET)】

回数	日にち	テーマ・内容	受講者数	保育		
第1回	5/9	「わたしを知ろう」	13	3		
第2回	5/16	「わたしの気持ちを探そう①・②」	10	2		
第3回	5/23		10	2		
第4回	5/30	「わたし再発見①・②」	11	3	◆応募総数:	14
第5回	6/6		13	3	◆受講者数:	14
第6回	6/13	「のびやかなわたしへのステップ①・②」	12	2	◆延べ参加人数:	90
第7回	6/20		10	2	◆平均受講者数:	11
第8回	6/27	「未知なるわたしへのステップ」	11	2	◆アンケート回答者数:	11

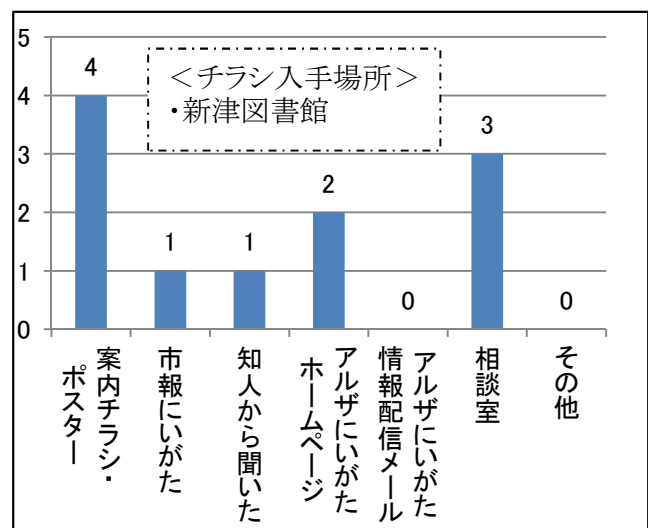
※ 女性15人定員， 各回火曜日10:00～12:00開催

[講師] NPO法人 新潟フェミニストカウンセリングセンター まど 寺崎康子さん

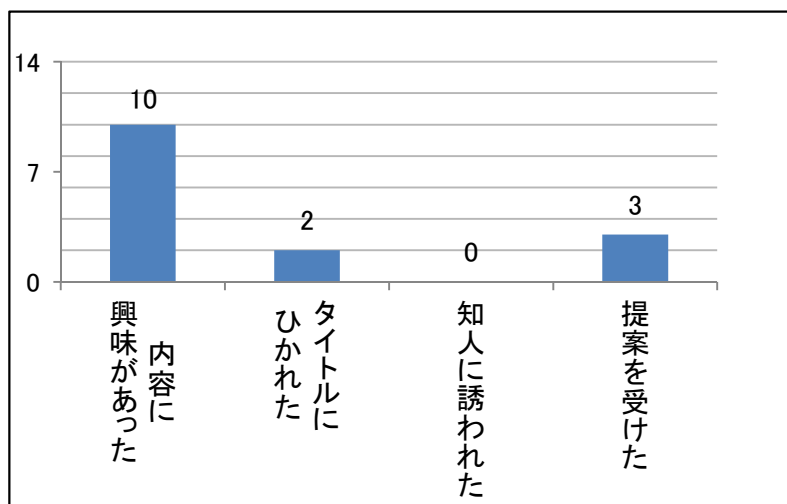
問1 あなたの年代は？



問2 今回の講座を何で知ったか？(複数回答)



問3 参加の動機は何か？(複数回答)



<提案者>
・相談室カウンセラー

問4 講座全体を通してどうだったか？

満足度 91.8%

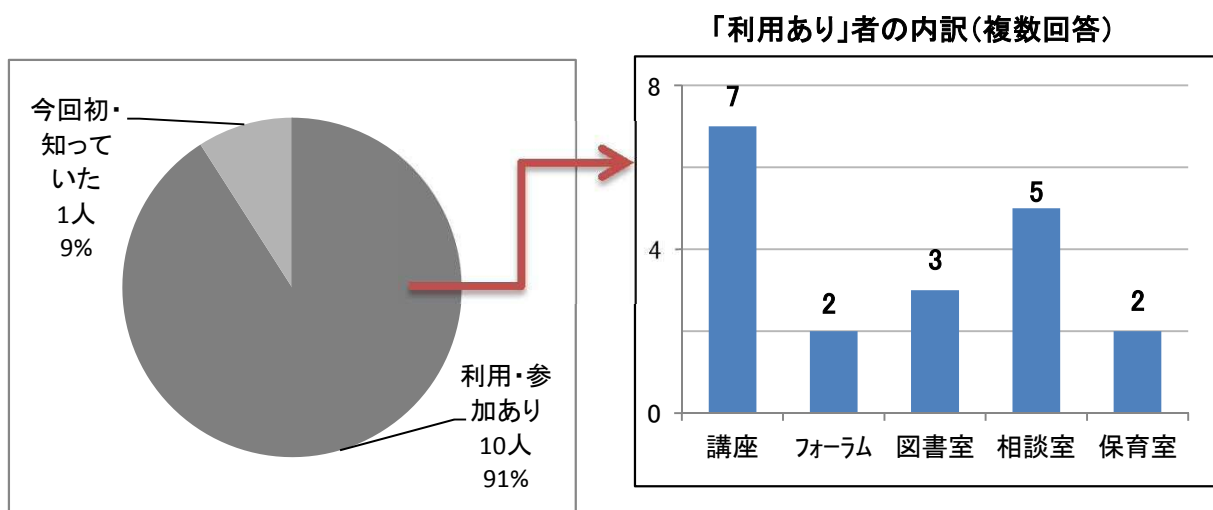
<理由・感想>

- なかなか他では聞くことができない講座を受けることができありがたかった。
- これからの手がかりをたくさんもらった。
- 自分自身のことを見つめるいい機会だった。自分が楽になれる方法を知ることができた。
- 内容については良かったが、自分のことを話すのが苦痛だったので満足とはいかない。
- 他の方の生き立ちを知って、悩んだり、自尊心が低くなっているのは自分だけではないと再確認できた。
- 話をする、聞く、新発見する、人とつながるチャンスを得られて良かった。

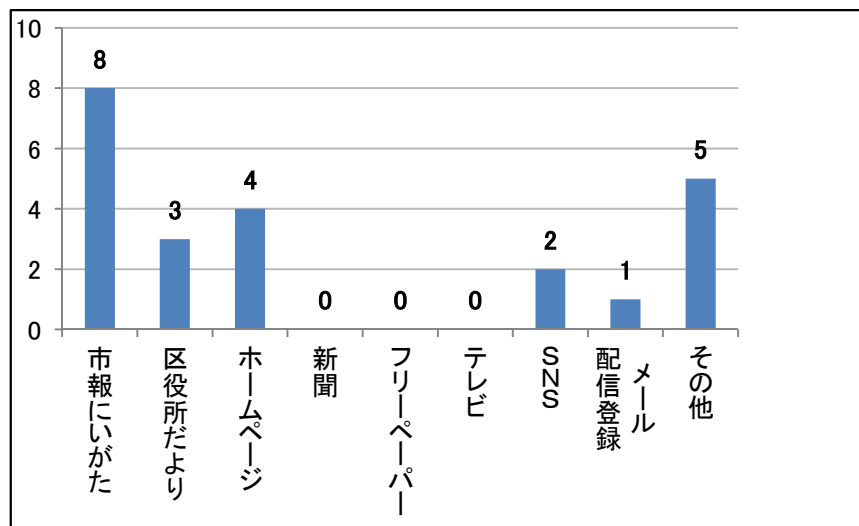
問5 講座の受講前、受講後で自身に変化はあったか？

- 自己尊重を実践しようと思った。考え方で結果が変わることも知った。
- ある程度分かっているけど迷っている部分を確認し片づけることができた。
- 自分の気持ちを大事にできるようになった。他の方の自己史を聞いて人それぞれいろいろな人生がありどれも大事な人生だと思った。
- 人を知るには時間がかかり、尊重することが大切だと改めて気づかされた。自分にはたくさん権利があり、縛られなくてもよいと思えるようになった。
- 人に合わせないといけない、怒りなどの感情を抱いてはいけないと思ってきたがありのままに感じてよいとわかると楽になった。自分は自分、人は人と思うことができるようになった。
- 講座受講前はタイトルをみてかなり敷居の高いイメージだったが様々な人の人生、考えかた、自分の気持ちを受け止めること、たくさんのが学べた。先生のアドバイスは受講後も頭に浮かんで毎回いい講座だったと思った。
- 出来事や自分の気持ちを冷静に多面的に考えることができるようになった。また他の人の気持ちを推測してやきもきすることが多かったが「どう思っているのか」を何パターンか考えることができるようになった。

問6 今回の講座以前にアルザにいがたを利用したことがあるか？



問7 アルザに限らず、「講座」に関する情報をどこから入手しているか？(複数回答)



<その他>
・パンフレット, ガイドブック
・置いてあるチラシ
・図書館, 公民館のチラシ
・ラック
・広告

問8 男女共同参画について、今後どのような内容の講座に参加したいか？またアルザにいがたについての意見

【講座】

- ・早海えい子さん(カウンセラー)
- ・森田直樹先生(不登校カウンセラー)コンプリメント
- ・駐車場代が毎回大変なので、割引などがあると助かる
- ・意地悪のかわし方, 心の持ち方, 視野の広げ方, 引きこもらないこころの持ち方, 負けない心
- ・アサーション講座だけだとなかなか自他尊重したコミュニケーションができない部分があり, 個人の問題なのかもしれないがまた違った講座があると良い。

【講座を振返って】

- ・8回連続講座と長丁場だが、回を追うごとに参加者が自信をつけて行く様子が見て取れた。
- ・自己史の発表でくじけてしまう人がいるが、女性のエンパワメントのためにも必要な講座だと思ふ。

講座プログラム

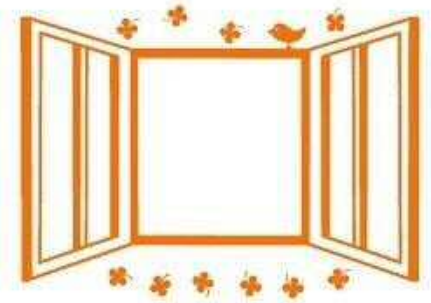
- 事業名：平成30年度 相談に携わる方のための講座
- 講座タイトル：DVや逆境的环境下で育った親と子どもへの支援
- 対象：行政や民間などの各種相談窓口の相談担当者等
- 定員：50人 応募多数の場合は抽選
- 保育：5人

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談に応じている機関や団体の相談担当者が、ジェンダーの視点を持って、相談者の人権に配慮しながら対応していくことの重要性を学ぶ。 ・DVや虐待の世代間連鎖を防ぐための支援について理解を深める。 			
行動計画	1-1-1、6-2-2			
回	日時	内容	方法	講師・助言者
1	9/1 (土) 13:30 ～ 15:30	DVや虐待など逆境的家庭環境で育つ、または育ったことはその人の人生にはかりしれない影響を与えます。早期に適切な養育支援や啓発を提供することによりDVや虐待の連鎖を防止する方法を、ジェンダーの視点から学びます。	講義	加茂登志子さん 精神科医 医学博士

参加
無料 保育
あり

DV や 逆境的環境下 で育った 親と子どもへの支援

9月1日(土)
午後1時30分
～3時30分



講師 ^{かもとしこ} 加茂 登志子さん
(精神科医、医学博士)

DVや虐待など逆境的家庭環境で育つ、または育ったことはその人の人生にはかりしれない影響を与えます。

早期の適切な養育支援や啓発の大切さをジェンダーの視点で学ぶことにより、DVや虐待の連鎖を防止します。

会場 万代市民会館4階 403・404大研修室

対象 各種相談に携わっている方(優先)
関心のある方

保育 5人(6カ月以上未就学児)

定員 50人(応募多数の場合抽選)

申込み 電話・FAX・かんたん申込みのいずれかで
アルザにいがたまで(詳細裏面)

締切 8月21日(火) 必着

アルザにいがた
新潟市男女共同参画推進センター

〒950-0082
新潟市中央区東万代町9-1(万代市民会館3F)
TEL:025-246-7713
FAX 025-246-8080
E-mail alza@city.niigata.lg.jp



アルザにいがた HP

NPO法人 新潟フェミニストカウンセリングセンター まで



◆新潟駅から徒歩7分。駐車場があります。周辺の有料駐車場をご利用になるか公共交通機関でお越しください。

講師 Profile



かも としこ
加茂 登志子 さん
精神科医、医学博士

静岡県出身。昭和 58 年東京女子医科大学卒。精神科医、医学博士。平成 9 年から現在に至るまで東京都女性相談センター非常勤嘱託医として DV 被害母子のメンタルケアに積極的に従事。平成 16 年から東京女子医科大学附属女性生涯健康センターで教授・所長を務めた後、平成 29 年から若松町こころとひふのクリニック PCIT 研修センター長として勤務。日本精神神経学会 (理事)、日本トラウマティック・ストレス学会 (理事)、日本女性心身医学会 (理事) などに所属。親子相互交流療法 (PCIT) のマスタートレーナーでもある。

「かんたん申込み」の方法



スマートフォン・
携帯から⇒ 右の二次元バーコードを読み取ると
「かんたん申込み」画面につながります



PCから⇒ 新潟市役所HP内<アルザにいがた>→<新着情報>
の講座募集情報から「かんたん申込み」画面につながります

アルザにいがた



FAX 専用 9月1日(土)講座 参加申込書

※切らずにそのまま
送信してください

新潟市男女共同参画推進センター 行

FAX 送信日：平成 30 年 月 日

FAX : 025-246-8080 (TEL : 025-246-7713)

講座「DVや逆境的环境下で育った親と子どもへの支援」に申し込みます。

ふりがな 氏 名		所 属 (あれば)	
連 絡 先	〒	TEL 番号 :	FAX 番号 :
保育希望の方	ふりがな () お子さんの名前 :	月年齢 :	歳 力月
	ふりがな () お子さんの名前 :	月年齢 :	歳 力月

※提供していただいた個人情報は、講座運営の目的以外には使用いたしません。

平成30年度【相談に携わる方のための講座】DVや逆境的环境下で育った親と子どもへの支援

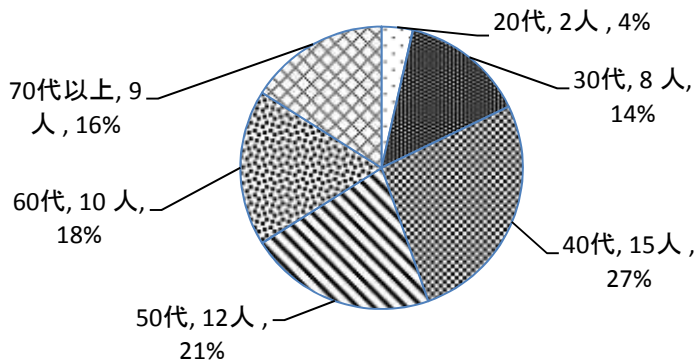
[講師]加茂 登志子さん（精神科医） [日時]平成30年9月1日(土) 13:30～15:30

[場所]万代市民会館 403・404大研修室 [参加人数] 67名 保育3名

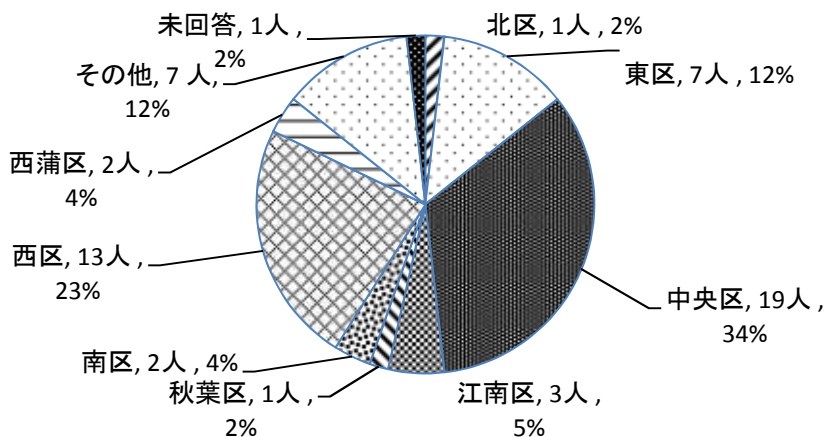
[アンケート回答人数] 56名

[申込者の所属] 民生委員・児童委員16人、市役所8人、教員3人、医師2人、その他18人
所属なし 13人

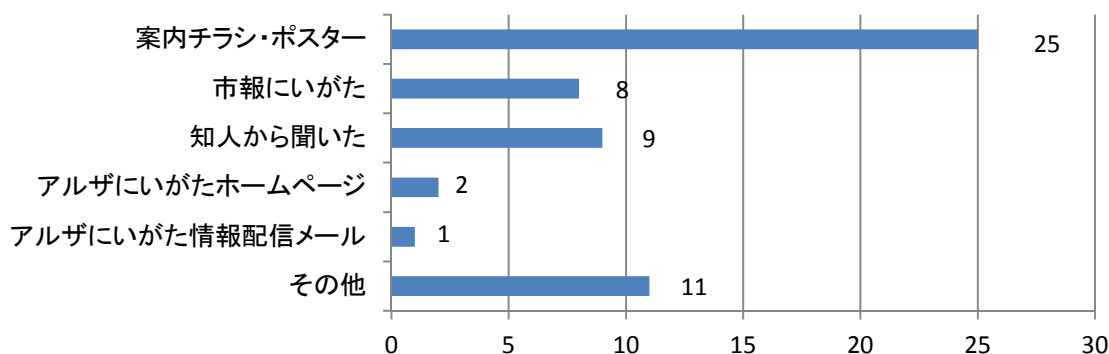
問1 年代をお聞かせください。



問2 お住まいの地域



問3 今回の講座を何でお知りになりましたか。(いくつでも)



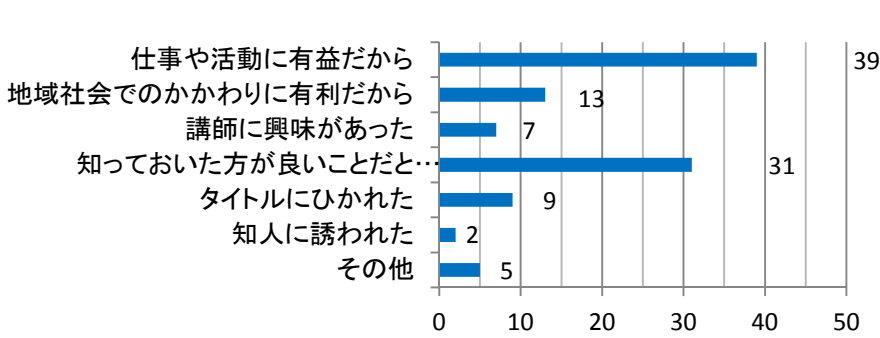
<案内チラシの入手場所>

- ・新潟青陵大学 1人
- ・研修会資料 1人
- ・女のスペースにいがた 1人
- ・県立図書館 1人
- ・アルザにいがた 1人
- ・職場 4人
- ・クロスパル 1人
- ・万代市民会館 2人
- ・ボランティア先 1人
- ・市役所 1人
- ・南区カルチャーセンター 1人
- ・民生・児童委員協議会定例会 2人

<その他>

- ・アルザにいがた相談室で勧められた 2人
- ・民生・児童委員協議会で紹介 6人
- ・所属団体から紹介1人

問4 参加された動機は何ですか？(複数回答可)



<その他の自由記載>

- ・親として
- ・虐待された子の対応に苦戦しているが何とかしたいから
- ・虐待経験者(被害者)だから
- ・当事者ではないのでなおのことよく理解できたらと
- ・DV体験者である自分のために

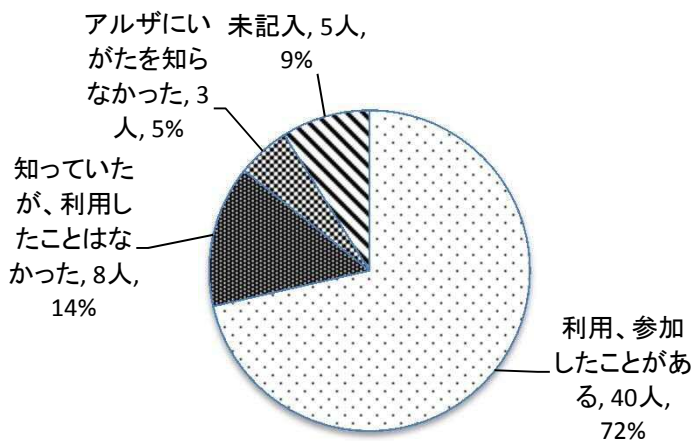
問5 本日の講座について

- ◆参加して満足した 93.4%
- ◆新しく気づいた(わかった)ことがあった 94.2%
- ◆学んだことを今後の活動に活かしたい 91.7%

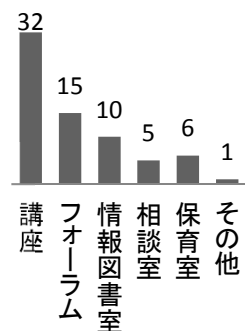
【理由・感想など】

- ・今対応している子たちが少し大きいので、CDIは少し遅いのかなと思いましたが、いくつかできるものがあるなと感じました。また、最初の話でDV家族の統計等分かるものもあり、とても勉強になりました。
- ・教育の現場で働いていますが、子が幼い時に自身や子の問題に気付いて対処していくことがとても有効だと感じました。
- ・親として、育児に本当に困って参加したのですが、本当に参加して勉強になって良かったです。ありがとうございました。
- ・「母」になれば子育てができると思っている人はまだまだ多く、女性が考えている場合は、自分を責めることになってしまいます。具体的なスキルを学ぶ機会が必要だという認識を広める必要があると感じました。
- ・プリントも、スライドも字が小さく大変見難かった。専門用語が多く、家でもう一度ゆっくり勉強します。良い機会をいただきました。

問6 今回以前にアルザにいがたを利用したことはありますか？



「利用あり」者の内訳(複数回答有)



問7 相談に関する講座で、今後取り上げてほしい内容や、呼んでほしい講師などの希望がありましたらご記入ください。

- ・松本俊彦氏（精神科医）
- ・心育でに苦しんでいる、親たちのスキル面での支援。実践で、支援に関係しているスタッフへの意識づけ。
- ・チャイルドマインダー？リマインダー？セラピーの一種みたいです。
- ・ジェンダー（男女差別）の基本講座をやってほしい
- ・トキワ精神保健事務所の関係者
- ・対処方面についても大事な事だと思いますが根本的には家庭教育（子どもと大人のコミュニケーション）が大事だと思いますので、「いろんな面からの家庭教育」の内容講座を希望します。

講座を振り返って

- ・アルザにいがた相談室と共催で実施しているため、専門性の高い講師を依頼することができ、先進事例を学ぶことができた。
- ・相談に携わる方だけではなく、子育て中の方にとっても有意義な内容だった。

平成30年度 第1回新潟市男女共同参画推進センター利用登録団体交流会

プログラム

1	日時	平成30年7月22日（日）10：00～12：00
2	会場	万代市民会館4階 美術工芸室・403・404 研修室
3	内容	1 開会あいさつ 2 団体活動事例発表（女性史クラブ） 3 カーリンコン（ゲームを通じた交流） 4 アンケート記入 5 閉会
4	その他	各団体のPRチラシ・資料など、出席者に配布したいものがありましたら、事前または当日にご持参ください。 （参考：近年の出席団体数は概ね30～40団体です。）

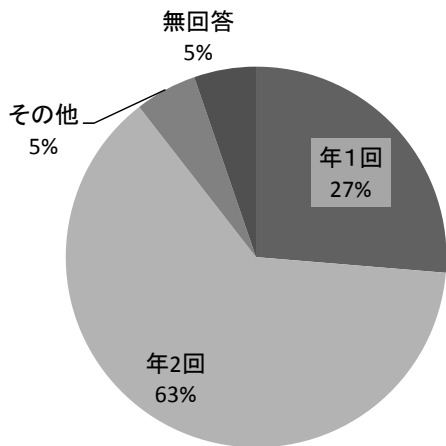
※交流会は年2回の開催を予定しており、第1回目は皆様の交流を図るためのレクリエーションなど、第2回目は男女共同参画について考えるためのワークショップを実施する予定です。

**問1：本日の登録団体交流会全体について、ご感想をお書きください。
(活動事例発表や、グループワークについて)**

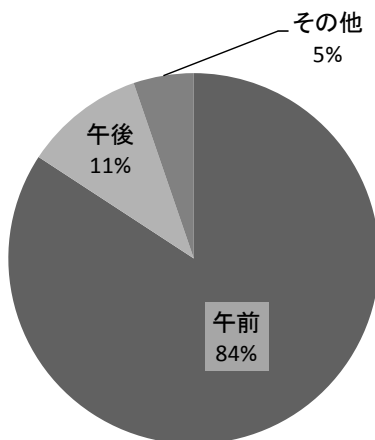
- ・日頃交流のないカーリンコンのグループとゲームに参加できてよかった。
- ・新潟女性史クラブの活動には敬意を表します。若い方たちに伝えてほしいと思った。
- ・新潟女性史クラブのこれまでの活動を深く知ることができた。
- ・カーリンコンは難しい、女性の立場で見ることがなかったので良かった。
- ・初めて知ったことや、初めてのゲーム、有意義で楽しかった。
- ・カーリンコンは新しい体験で楽しかったが、初めての交流会参加だったので、他の団体の活動をもっと知りたいと思った。活動事例発表は良かったと思う。
- ・代理出席で通常のやり方がわからなかったが、みんなで一つのことをやるのはよかった。
- ・カーリンコンの宣伝のようだった。他団体のバランスからいえば交流会の中で女性史クラブと同等の扱いの方が良かった。
- ・アルザどうしてカーリンコンと思ったが、団体同士の交流は深まった。
- ・素晴らしい活動事例発表と楽しいカーリンコンゲームだった。
- ・色々な内容に取り組んでいると思った。カーリンコンは楽しく過ごしたが団体との交流まではいかなかった。
- ・落ち着いて楽しく交流できた。
- ・カーリンコン初めてやった、自分からはやらないスポーツなので体験できてよかった。子どもにとっても向いていると思う。
- ・年に数回回の交流会で普段交流のない団体や活動を知るのは良いことだと思う。カーリンコン初体験楽しかった。

**問2：今後の登録団体交流会について、ご要望などがありましたらお書きください。
(開催時期・開催回数・平日/休日 内容・講師など)**

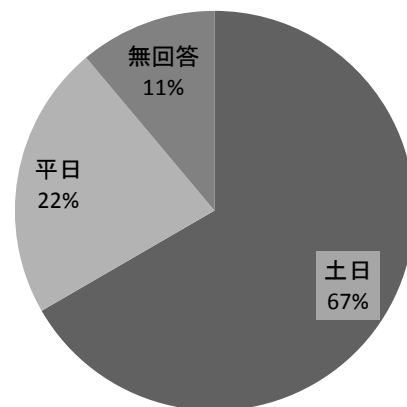
開催回数



開催時間



参加しやすい曜日



【その他】
内訳
年3、4回

講師、内容について

- ・登録団体の活動事例発表の機会はぜひ続けてほしい。
- ・それぞれの団体の活動に役立つものが良い。
- ・健康問題等を望む。
- ・活動内容の違う団体の事例発表やカーリンコンの活動だったり良かった。
- ・身体を動かしてみんなでやれるのは一体感が生まれるので、カーリンコンのようなレクを加えてほしい。
- ・聞くものと、体を動かすイベント両方ほしい。
- ・コンパクトで良かった。

問3：「アルザにいがた」、新潟市の男女共同参画について、ご意見・ご要望などがありましたらお書きください。

- ・フォーラムの助成金の減額は仕方ないと思うが、報告集を作成しないのは納得いかない。部数を少なくしたりきちんと記録として残すことがフォーラムの質の低下を防ぐことにもなると思う。
- ・活動事例を2組程度はどうか様々な団体との交流は良い。
- ・いろいろと工夫されていることが良い。(登録団体交流会はとても参考になる)
- ・いろんなものをやってほしい。
- ・知っている人が少ないように思う。せっかくのことなので広報活動をもっとしたらよいと思う。
- ・フォーラムの報告集は大切だと思う。市が市民と取り組む記録を後世に残していかなければ検証ができない。市はイベントを開催ただけで終わりではない。
- ・女性が多くなって来たと感じる。
- ・フォーラム報告集はアルザの存立意義に欠かせられないものだと思う。(3本柱の1つなので)何かしらの形で存続すべきと思う。アンケートも声を集約する貴重で大切なツールなのでこちらも引き続きお願いしたい。
- ・男女共同参画への道のりはまだ険しい。少しずつでも前進してほしい期待している。